

# Richart ~ピチヤリ~

七飯町歴史館だより  
第133号

nanae historical  
museum collection

## ななえ古写真物語

VOL. 133

### ひと昔前の大沼

大沼跨線橋とヘルスセンター  
昭和40年頃か  
大沼地区



この写真は、一昔前の大沼の街並みを写した一枚である。変わらずそびえる駒ヶ岳は、すっかり雪化粧し、おかげで天を衝く剣ヶ峰も、いっそう鋭く感じる。森林が広がっているため、ふもと側には雪がみられず、白い山が宙に浮いているようにも見える。そんな雄大な自然と相対するように軒を連ねる住宅。今も変わらないように思える景色は、大沼にある跨線橋から撮影されたものと考えられる。

ちょうど、右下に見られる下り坂となった道が、その跨線橋で、今でも車で大沼公園へ向かう時は、必ずといって良いほど通ることになる。JR砂原線を乗り越えるように敷設された跨線橋から望む駒ヶ岳は、目線と同じ高さにある気にさせてくれる。

ところで、この跨線橋がいつ建設されたか、文字記録が残っていない。いや、正確には見つけられていない。町史や郷土史料に目を通したのだが、これだという記載を探せていないのだ。JR砂原線が関係しているので、昭和20年以降であること、また、大沼が国定公園になってから、自家用車での来訪が多くなったことから、昭和40年頃と考えるが、定かではない。そのため、今後も調査が必要となる。

さて、この跨線橋の両側には、住宅が密集し市街地を形成しているのだが、よく見ると、そうではない建物も見られる。例えば、中央左側には、縦長の三角屋根をした家畜舎と思われる建物が斜めに7列ほど並んでいる。時期的には毛皮業のための動物飼育施設（養狐場か？）ではないかと思うが、今はその名残りもなく、空地が広がっている。

また、写真では小さくてわかりにくいですが、跨線橋から下り坂となり、左へカーブを描き、道が切れている箇所の上には、前面ガラス張りで円柱形をした建物があり、それにつながった大きな建物があるのが見える。これは「大沼ヘルスセンター」という施設で、昭和36年に開業した宿泊施設である。当初は、円形校舎のようにも見たのだが、幸い、当館で別の大沼ヘルスセンターの全景写真を所蔵しており、その比較から同定出来たが、残念ながらこの施設も今となっては、その姿はない。

わずが数十年前の景色とはいえ、写真に残された記録は計り知れない。当時近代的だったヘルスセンター、そして失われた畜舎。少し前の記録を文字でも残すことが、私達の仕事でもあると感じた一枚である。



## 2月の予定

### 12日

夜の博物館後期講座第1回を行いました。「博物館学とは何か？」と題し、いつもとは、趣きが異なるテーマでお話を進めました。博物館の分類では、登別の『くま牧場』が博物館扱いになると知って、受講者の皆さんも驚いていた様子。文化財を守り、研究し、公開、教育普及などが博物館の役割と言われていますが、その他にも見えないところで日々、多くの業務があり、法と実状の間にはかい離があります。また各地の博物館の展示室の工夫や教育プログラムも紹介し、「知る」を楽しむ博物館をもっと利用して頂けたら幸いです。



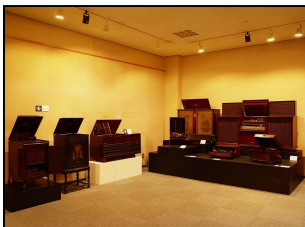
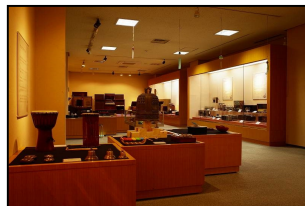
### 22日

年末恒例のジュニア探検クラブのプログラム、午前はそば打ち、午後は餅つきと忙しい日程です。そば打ちは、友の会の方に実演して頂いた後に、子供達が挑戦！水を加え、粉を練るのは、なかなか大変。さらに包丁で切るころには、太さも個性豊かなそばが出来上がりました。餅つきはというと、杵の重さで持ち上がらない子が続出。美味しいそばや、お餅をつくのも一朝一夕には出来ませんが、皆で食べた時間が良い思い出となりますように。



## 音に親しむ。

12月21日から企画展『音とくらし』を開催しています。私たちの暮らしは音に溢れた世界に包まれ、自然の音から人工的な音まで様々です。危険や時刻を知らせる音、会話を繋ぐ音、娯楽のための音、人間がより良い暮らしを求め、それに伴って機器も発達していきました。今回は、収蔵資料の中から蓄音機や真空管ラジオ、ポケベルなど約100点の資料を展示しています。3月6日まで開催しておりますので、是非足をお運びください。



1	金	企画展開催中
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	夜の博物館
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	建国記念の日
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	ピチャリ134号発行予定
21	木	
22	金	
23	土	ジュニア探検クラブ
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	

2月の休館日はありません。

### バードケーキ

文化の森に、毎冬設置しているバードテーブル。牛脂やヒマワリのタネを置いていますが、今年は小鳥たちにバードケーキのプレゼント。小麦粉、砂糖、マーガリンを混ぜたものです。食べてくれるかな。



### 編集後記 ~tawagoto~

雪の少ない年明けである。昨年の中頃、体のあちらこちらをいたわりながら、軒下の排雪作業を行っていたことを思うと、ありがたい限りである。とはいえ、北海道の冬はまだ2ヶ月は続く。帳尻を合わせるように、突然ドカ雪が降ることもよくある。ふと、積もった雪に目をやると、エゾリスの足跡があった。これくらいの雪で終わると、リスたちも活動しやすいだろうにと、自然を思いやるふりをして、保身をはかる自分がいた。（やまだひさし）

# Pichari

~ピチャリ~

第133号

平成31年1月20日発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp